ニューライフの「たから」(^^)vol.6

夏が来ました!! "ニューライフのベテランさんと フレッシュさん"のコーナーです。夏に負けない 熱さを持って職務に当たるスタッフの心意気、感 じてください!

今回のベテランさんは療養課の介護スタッフです

• 年齢と勤続年数は?

46歳 で 勤続20年以上!!

・長年続けられている理由や気をつけていることは? 長く続けられている理由は、仕事を辞めた いと思ったことがなかったからです。

嫌な事は寝れば忘れる性分なので、嫌な感情 や怒りが長続きしないのかもしれません。

また、仕事はあくまで「**お金を得る手段**」と 割り切るようにしていることも良い方向に転 がっているのかもしれません。

気をつけていることは、40 歳を過ぎてから 身体にガタが出始めてきたのでメンテナンス を心掛けています。

・今後の抱負や目標は?

家族(妻、8歳の息子、去年生まれた娘)の為に頑張って働くつもりです。

娘が成人するまでは元気に働いていたいものです

続いて先輩スタッフに負けない熱い思いの勤続年数が3年以内のフレッシュさんです。

・年齢と勤続年数は?

年齢は内緒!?で 勤続 5ヶ月目

・この仕事についた理由や入職したキッカケは?

以前はデイサービスに勤めていましたが、引っ越しを機にこちらの施設でお世話になることを決めました。人と接するのが好きで、お客様を楽しませること自体が楽しくなり、この仕事を続けています。

・今後の抱負や目標はありますか?

ご利用者様が笑顔で過ごせる様にこれからも努めて参ります。

デイサービスの先輩に教えて頂いた「笑われてなんぼだよ」の精神を胸にこれからも頑張っていきます!

次回あたりはそろそろ他部署のスタッフにも登場してもらおうと思います。何課になるかはこうご期待!!

今回の行事食はこれ!!

6月30日は夏越ごはんの日

夏越ごはんの日とは、一年の前半の穢れを祓い、残り半年間の無病息災を願うために全国の神社で行われてきた「夏越の祓」の神事に合わせ記念日のことです。 夏越ごはんの日とは「ごはん(雑穀入)」と「茅の輪にちなんだ丸い食材」を食べる日とのことなので、雑穀ご飯とかき揚げメインの食事を提供しました。今年も早いもので残り半年ですね。毎日たくさん食事をとって、後半も元気に過ごしましょう!

☆雑穀ご飯 ☆手作りかき揚げとかますの天ぷら☆オクラと山芋の和え物 ☆冷製梅風味茶碗蒸し☆すまし汁 ☆みかんと牛乳の2色ゼリー



→こちらが通常食



7月7日は七夕☆

当日は不安定なお天気でしたが、昼食は七夕メニューで提供しました。

〇〇な事情であまり提供できない鰻・・・をのせたちらし寿司をはじめ、腕をふるったおかずの品々です!

☆うなぎちらし寿司 ☆揚げ出し豆腐 ☆黄身酢和え☆すまし汁 ☆サイダーゼリー







なかなか楽しいことが少なくなってしまっている日々ですが、施設内の笹飾りとともに食事から少しでも季節を感じていただけたらと思います。

次号の予告

次号の「つばき」は

- ・ニューノーマルでは 2 回目の"敬老会"とか
- ・こちらも 2 年目 "夏のお楽しみ会" とか で R3.10 月にお届け!!

編集後記 "ばえる":第9回!!

センター長が就任し本格稼働の新事業、施設でのワクチン接種など、一歩ずつではありますが前に進めていると感じています。感染症や災害等で辛い状況に置かれている方達へ少しでも助力できるよう、私たちの出来る精一杯を続けていきたいと思います。

発行責任者:ニューライフ湯河原施設長・安藤 薫

編集責任者:矢部翔平編集:ニューライフ湯河原広報委員会

発行日:2021.07.09 発行人:ニューライフ湯河原

湯河原町吉浜 1906 phone:0465-60-1555

介護老人保健施設ニューライフ湯河原 presents



令和参年7月号



少しずつ、確実に季節は夏に近づいています。そして本来なら国が一つになるはずのイベントが、皮肉なことに国を 二分することになってしまっているオリンピックも近づいています。「やると決まったからには腹を括って盛り上がろう ぜ!」が正解なのか、終わった後に「ほーらねっ、やっぱり感染が酷いことになっちゃったでしょ!だから言ったじゃん」って 言いたいためだけに冷めた感じで居続けるのが正解なのか、いまだに決めかねている今日この頃、皆さんの気持ちは 固まっていますか?

そしてそんなことに悩んでいたことが能天気に思えるほどの災害がまた発生してしまいました…熱海の伊豆山地区の土石流による被害はとても甚大で、被災された方々には心よりのお見舞い申し上げます。昨今の大規模災害に比較してより身近での災害ということで、当施設にも土石流発生現場の目の前に自宅があり、避難場所から帰ることはもとより、自宅の様子をうかがい知ることもできずにいる職員がいます。

今までの災害からたくさんのことを学んだはずなのに、何もない日常を過ごせることがとても奇跡的なことであることをつい忘れがちになってしまいます…改めて平穏な日常への感謝と、被災地の少しでも早い復興を祈りつつ 3ヶ月に一度の当たり前をお届けいたします。

7月だよ!! "湯河原町包括支援センター"全員集合!! いよいよ本格始動!!

∼高齢者のための「よろず相談所」開設!!~

湯河原町介護課内に設置していた地域包括支援センターを、2021年4月1日(木)から民間事業者"ニューライフ湯河原"による委託運営に変更となりました。

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんの様々な相談や悩みごとに寄り添い、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるようにサポートをする場所です。

なにを相談すれば良いの? と思っている方へ

☆「さまざまな相談ごと(総合相談支援)」

介護に関する心配ごとや生活全般の相談など、幅広く相談をお受けします。

☆「介護や健康のこと(介護予防ケアマネジメント)

介護保険サービスの利用や介護認定手続きのお手伝いなどを行います。

☆「権利を守る事(権利擁護)」

成年後見制度の紹介や利用のお手伝い、消費者被害への対応、高齢者虐待の早期発見や防止のための取り組みを行います。

☆「暮らしやすい地域のために(包括的・継続的ケアマネジメント)」

ケアマネジャーの支援ほか、皆様の声からさまざまな機関とのネットワーク作りなどを考えて行きます。

地域包括支援センター⇒すべての高齢者の相談を受け付ける施設です

ニューライフ湯河原での委託運営となり、3ヶ月が経ちます。7月から新たにセンター長(松永)が就任し、社会福祉士、看護師、ケアマネジャーなどの有資格者5名による新体制で、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心した生活が続けられるように、介護・福祉・保健・医療など、さまざまな面で支援を行うための総合相談機関として努めてまいります。

松永 亮 ーマツナガ リョウ-(センター長)

令和3年7月に湯河原町地域包括支援センターのセンター長へと就任したケアマネージャーの松永亮です。

以前は真鶴町社会福祉協議会で事務局長を務めていました。湯河原町のことはまだまだ知らないことばかりですが、前職での経験も活かしながら、職場の方々をはじめ、関係機関や団体等の皆様とも協力して業務に邁進していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



奥山 ひろみ -オクヤマ ヒロミ- (主任ケアマネ)

令和3年4月に湯河原町地域包括支援センターへ入職した主任ケアマネジャーの奥山ひろみです。

長年、介護・福祉関係の仕事に携わってきました。これまでの経験を活かし総合相談窓口として高齢者の皆様やご家族の困り事に対応してまいります。よろしくお願い致します。

ところで、NHK の朝ドラ「おかえりモネ」はご覧になっていますか。 実は私の故郷が舞台となっています。コロナでしばらく帰省しておりませ んが、ドラマの中のなつかしい風景がささやかな楽しみとなっています。

第 50 回… "時事(じいじ?)コラム" ~科学的介護推進体制加算(LIFE)は活用できるのか~

私どもの施設では、この6月に4月、5月分の科学的介護推進体制加算算定要件のデータを入力し始めて国に提出しました。このシステムは単なるデータ入力だけで終わるものではなく、『フィードバックを受け、事業所・施設でPDCA サイクルを回す』ことになっているのですが、さすがにそこまでは進んでいません。

このシステムは『サービスの向上が期待できる」と評価されておりますが、全く実感はありません。 とりあえず取り組みが始まったため必要な要件のデータを集めて国に提出したにすぎません。国は「介 護の質」に関する指標づくりは「道半ば」であり、

①利用者の意思の尊重 ②廃用からの脱却 ③個別ケアー など、

「適切な指標」を走りながら考えていくことの重要性を指摘するとともに、「事業所・施設がサービス向上に役立てられるようなフィードバック方法」についてもさらなる検討を進めるべきとしています。 さらに、以前から言われていた「データ入力等の負担が大きい」「データ入力等の負担に見合った報酬設定がなされていない」との声がありましたが、まさにその通りであると実感しています。

今回の LIFE の着地点は、データの変化に応じてサービスを変更すれば、自立度が上がること。 しかし、年齢や性別、疾患、家族構成などの基本情報に排尿、排便や更衣、日常生活動作や栄養状態、 口腔機能、認知症自立度をいくら評価しても、その方の人生観までは浮き出てこない。

人には、これまで生きてきた歴史が あって考え方も様々。

これから、データのフィードバックが行われ、それをいかに活用してサービス提供し生かしていくかは事業所・施設次第になりますが、効率的で適切な、またより良い介護サービスを提供することは私たち事業所・施設の求めることには違いありません。



文責:松岡秀典

<u>もう星に願うしか... "七夕飾り" の願いは一つ!!</u>

7月と言えば毎年恒例の七夕です!各会に配置された笹には、レクリエーションでご利用者と共に作成した飾りや短冊がちりばめられています。昨今の情勢からか、今年も健康を願う短冊が多いように感じます。

皆さんの願いが叶うことを祈ってやまない七夕でした。



LIFE

<u> それでも春を感じてほしい "春のお楽しみ会" もちろんニューノーマルで!!</u>



例年であれば一泊旅行や遠足へと赴く時期ですが、今年は身近な所で春を感じる べく施設内でお花見を実施しました。遠くの観光地にも負けないくらい立派な桜の 木々を間近で感じ、皆さん喜ばれていました。

おやつのお供に提供した甘酒も好評で、素敵な一時を共有することが出来ました。

ご入所者、スタッフの"コロナワクチン摂取"全員完了!!

ワクチン接種完了しました!!

ご利用者および施設職員を対象にした新型コロナウイルスワクチンの接種が完了しました。

まずは一安心といったところですが、油断は出来ません。ワクチンを接種したからと言って完全に感染しなくなるというわけではありません。これまで行ってきた感染対策も継続しつつ、これまでの日常を少しでも取り戻せるよう頑張っていきます!